

9月5日：VN指数は後半にかけて下落 (VN-Index -0.59%)

- VN指数は方向感を探るように慎重に寄り付き、本日の取引を開始した。
- 前場は昨日から好調な推移を見せるビンググループ株が上昇をけん引し、相場の回復がみられた。しかし、勢いは徐々に失速し、その他の大型株の下落も相まって、上昇幅は縮小した。
- 後場に入っても積極的な買い姿勢は見られず、売り方に押される展開が継続。最終的には続落となった。
- セクター別では不動産とメディアセクターのみが上昇し、他はすべて下落した。
- 118銘柄が上昇、285銘柄が下落、75銘柄が変わらずとなった。
- 流動性はやや改善し、5.1%増の16.5兆ドンとなった。

VN30指数は数銘柄が支えるも下落 (VN-30 -0.66%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、3銘柄が上昇、23銘柄が下落、4銘柄が変わらずだった。
- 上昇したのはVHM (+2.94%)、VIC (+2.39%)、VNM (+0.54%)のみ。
- GVR (-2.31%)やPLX (-2.02%)を筆頭に、多くの銘柄が下落した。

セクター・個別株の動き

- SSI (-0.15%)は2023年分の配当支払い最終登録日を9月24日とすると発表した。支払額は1株当たり1000ドンで、総額1.5兆ドン超となる見込み。
- DBC (+0.90%)は8月の収益について、2兆240億ドン(前月比+11%)となったことを発表した。特に、動物飼料と養豚部門の増収が寄与した。
- 外国人投資家は6828億ドンの売り越し。VHM (+2.94%)が中心に買い越された一方、FPT (-1.80%)が大きく売り越された。

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。